

財政事情とは、市の予算の執行状況や地方債(国・金融機関からの借入金)の現在高、基金(家計でいう貯金)などの状況を表すものです。今月の広報誌では、令和3年9月末現在の財政事情をお伝えします。

問い合わせ 行財政マネジメント室 ☎366-0011

歳出

予算額 / 支出済額

執行率

民生費	102 億 675 万円	／	37 億 7,905 万円		37.0 %
総務費	25 億 3,129 万円	／	9 億 8,828 万円		39.0 %
教育費	24 億 1,778 万円	／	8 億 600 万円		33.3 %
衛生費	21 億 716 万円	／	7 億 1,048 万円		33.7 %
公債費	18 億 6,141 万円	／	7 億 1,496 万円		38.4 %
土木費	14 億 3,495 万円	／	6 億 2,143 万円		43.3 %
消防費	8 億 5,655 万円	／	4 億 3,281 万円		50.5 %
議会費など	5 億 9,546 万円	／	1 億 6,798 万円		28.2 %
合計	220 億 1,135 万円	／	82 億 2,098 万円		37.3 %

9月末時点では、約70億円の予算現額に対して、約46億円の収入がありました。市債は、約15億円の予算現額に対して、9月末時点で借入れはありません。地方交付税は、行政サービスを一定水準に維持できるよう、国から年数回に分けて交付されるお金で、残りは11月、12月、翌年3月に交付されます。また、国庫支出金や府支出金などの多くは、年度末に収入することになっています。

このように収入は年度末や毎月入ってくるものなど様々です。また、支出の中にも事業の完結後に支払われるものや、毎月決まって支払われるものがあり、市は収入と支出のバランスをとりながらやりくりしています。

特別会計と企業会計

予算現額には繰越予算を含みます(単位：千円)

区 分		予算現額	収入済額	執行率(%)	支出済額	執行率(%)
特別会計	国民健康保険	6,199,992	2,802,605	45.2	2,494,911	40.2
	介護保険	5,805,682	2,311,585	39.8	2,104,143	36.2
	後期高齢者医療	1,081,486	444,976	41.1	371,243	34.3
	池尻財産区	8,890	4,897	55.1	2,653	29.8
	半田財産区	8	2	25.0	2	25.0
	東野財産区	2,231	1,462	65.5	1,462	65.5
	今熊財産区	3	0	0	0	0.0
	岩室財産区	2,688	782	29.1	782	29.1
	栗木財産区	20	9	45.0	9	45.0
企業会計	下水道事業	収入	収益的	1,644,699	894,036	54.4
			資本的	892,850	329,746	36.9
	支出	収益的		1,636,550		736,532
			資本的	1,301,443		623,544

基金の状況

基金は、貯金にあたるものです。全会計の基金を集めると約50億円あります。いざというとき自由に使える貯金(財政調整基金)は、9月末現在で約30億円あります。しかし、自由に使えるからといって、むやみに貯金を取り崩すのではなく、不測の事態に柔軟に対応できるよう備える必要があります。

そのほかの基金は、それぞれの目的に従って積み立てや運用、取り崩しを行っています。

一般会計

令和3年度 予算執行状況 財政事情を 公表します

歳入

予算額 / 収入済額

執行率

市税	70 億 3,257 万円 / 46 億 3,862 万円	66.0 %
国庫支出金	46 億 56 万円 / 17 億 6,426 万円	38.3 %
地方交付税	31 億 2,000 万円 / 23 億 5,477 万円	75.5 %
使用料 手数料など	22 億 6,200 万円 / 3 億 1,309 万円	13.8 %
府支出金	19 億 2,782 万円 / 2 億 1,748 万円	11.3 %
市債	14 億 6,240 万円 / 0 円	0.0 %
地方譲与税 など	16 億 600 万円 / 8 億 5,032 万円	52.9 %
合計	220 億 1,135 万円 / 101 億 3,854 万円	46.1 %

市の財政は、福祉や教育、都市整備などの一般的な事業を行うための一般会計と、事業が特定されている特別会計・企業会計とに区別されます。

市の財政も家計と同じように、あらかじめ見込める年間収入の範囲で予算をつくり、支出に振り分けます。予算は毎年4月にスタートし、翌年の3月で終わります。9月末はちょうど中間地点です。執行率は予算現額(9月末現在の予算額)に対して、収入または支出した割合をパーセントで表しています。

収入の中でも大きな割合を占める市税は、1年分を一括して納付する場合や、期日に分けて納付する場合があります。

一時借入金の状況

1年間で様々な経費を支払うときに、支払期限までにお金が準備できない場合、金融機関などから一時的にお金を借り入れることがあります。これを一時借入金といいます。

一時借入金は、10年、20年といった長期にわたって借り入れる地方債とは異なり、借り入れた年度内に返済しなければなりません。

9月末現在では、各会計とも現在高(借入額)はありません。

地方債の現在高

9月末現在の一般会計債と企業会計債の借入金現在高の合計は、約225億円となっています。

一般会計債の主なものは、教育債では小・中学校の整備で約26億円、土木債では市道路整備で約14億円です。

借入金はなるべく少ないのが理想的です。しかし、一般家庭の場合でも毎月の家計を圧迫させないためにローンを組むなど、計画的に高額な買いものをすることがあります。市の財政運営も同じように資金計画を立て、資金を借り入れています。これは、長く利用できる施設などの建設費の負担の公平性を図るという点からも有効であるといえます。

(単位:千円)

名 称	現在高
一般会計債	16,524,061
総務債	498,276
民生債	677,457
衛生債	557,338
農林水産業債	4,752
土木債	1,441,904
消防債	471,391
教育債	2,586,142
減税補てん等債	209,065
臨時財政対策債	9,998,736
第三セクター等 改革推進債	79,000
企業会計債	6,001,570
下水道事業債	6,001,570